



前へ!!!～理想を確信へ～最終回

ご卒業 おめでとうございます



(国語科・1組担任)

我以外皆我師。自分以外の人や物は皆、自分に教えてくれる先生である。という意味の言葉です。人との出会いや様々な経験からたくさんのかんじを吸収してください。次に会うときは皆も私も今より成長した姿であられるよう、お互いにお互いの場所で頑張りましょう。卒業おめでとうございます。

(理科・2組担任)

あつという間の3年間。いつも君たちの成長に驚かされ、多くの感動を与えてもらいました。これから先も、何がしたいかを自分でしっかりと選択し、これからの人生を歩んでください。そして、いつも願っています。最後は、笑顔でいられるように。

(家庭科・3組担任)

卒業、おめでとうございます。人生楽ありゃ苦もあるさ 涙のあとには虹も出る 歩いてゆくんだしっかりと自分の道をふみしめて～水戸黄門より～川下中での思い出を胸に力強く第一歩を踏み出してください。これからも応援しています。

(英語科・4組担任)

ご卒業おめでとうございます。「正しいより楽しい。正しいより面白い。やりたかったことやってみよう。失敗も思い出。」ある曲の始まりにこんな歌詞があります。皆さんが後ろを振り返ったときに、「やってよかった。」と自分を誇らしく思える人生になることを願っています。

(社会科・5組担任)

卒業おめでとうございます。卒業はゴールではなく、新たなスタートです。

Von hier und heute geht eine neue Epoche der Weltgeschichte aus, und ihr könnt sagen, ihr seid dabei gewesen.

(ここから、そしてこの日から世界史の新たな時代が始まる. Goethe)

(くすのき担任)

ご卒業おめでとうございます。皆さんが中学校で経験した全てのことが、これからの人生の糧となります。希望を胸に、勇気をもって新しい世界へ踏み出してください。そして、日々、誠実に歩んでください。皆さんの明るい未来を信じ、これからも応援しています。

(国語科・3年副主任)

卒業の時期になると思い出す映画の一場面。去りゆく卒業生の横で、もう次の新入たちが、同じ教官の元で訓練を受けている。彼が入った時と、全く同じセリフ同じストーリーで。もう次の時間は始まっています。目の前の道を直向きに進んでいってください。祝卒業！

(数学科・副担任)

期待される場面では、必ず期待以上の力を発揮する集団でした。それだけの力を持っている皆さんです、この先の様々な困難にも乗り越えていけると思っています。皆さんと出会い、三年間ともに過ごせたこのご縁に感謝します。ご卒業、おめでとうございます。

(通級教室・副担任)

礼儀正しい挨拶、一緒に岩国市歌や校歌を歌えたこと、好きなものと同じだったこと、嬉しかったです。Where there is a will, there is a way. (意志あるところに、道は拓ける。)
みなさんのご多幸とご活躍を祈念いたします。

(副担任)

ご卒業おめでとうございます。これからのよりよい成長を続けるために、「やりたいけど、やらない。やりたくないけど、やる力」を大切にしてください。難局を歯を食いしばって乗り越えて、素晴らしい人生を送ってください。

1年 出逢い、仮入学の日。岡田校長先生が出前授業で校歌の練習をしてくださったおかげか、歌える児童が何人かいて驚いたこと。入学式では岩国市民憲章や岩国市歌を大きな声で歌ってくれ、元気をもらったこと。ついこの間のことのように思い出されます。入学早々、秋吉台青少年自然の家での宿泊訓練。雨の中、オリエンテーリングで文字を集め、大声コンテストを開いたこと。洞窟の一番奥で懐中電灯の光を消し、真っ暗な闇の中で、ここからスタートなんだと自分自身と向き合ったあの時間。



2年 心に決めた一字を色紙に書き、ステージで発表した立志式。あの時の決意、忘れてないかな？思い出してほしいな。そして多くの人が変声期に差し掛かった時期に挑戦した混声四部合唱『大地讃頌』のステージ。鳥肌が立ったのを覚えています。

3年 川下中学校の顔として、数々の行事を究極のレベルに押し上げ、成功に導いてくれた皆さん。コロナ禍だから…。ではなく、コロナ禍でも！いや、コロナ禍だからこそ！！と形や方法を変えて「究極」を目指し、常に前を向いて理想を確信へ変えてくれました。明日から、もう、この学校にあなたたちがいないと思うと、さみしくて、さみしくて。でも、♪明日からは 僕だけの正解を いざ探しに行くんだ また逢う日まで・・・答え合わせの時に私はもういないだから採点基準は あなたのこれからの人生 「よーい、はじめ！！」ここはスタートライン！応援してます！

保護者の皆様へ

人生の中で思春期・反抗期という一番多感な時期である川下中学校での三年間。お子様の成長や葛藤を保護者の皆様と一緒に、時に見守り、時に叱咤激励しながら側で過ごすことができたこと…色々ありましたが、今となってはどれもいい思い出です。お子様の表情、言葉に一喜一憂しながら、背中を押してくださった三年間であったと思います。卒業アルバムをめくると、その時、その時のことが鮮明に思い出され、目頭が熱くなるのは年を重ねたせいでしょうか。生徒たちのパワーに負けじと張り合っていた1年・2年でしたが、3年になってからは、本当に頼りになる存在で、むしろ、手を引いてもらっていたのかもしれませんが。その間、生徒はもちろん保護者の皆様からも多くのことを教えていただきました。中学校へのご支援・ご協力、本当にありがとうございました。皆様のご多幸をお祈りしています。

(学年主任)